

# 幼児教育長期派遣通信 1学期号

発行 令和4年9月6日

三次市立神杉小学校 瀬山 亜希子 (派遣園・所：三次市酒屋保育所)

幼児教育長期派遣研修として、保育所で乳幼児教育の実践を体験しながら、幼児期の学びについての理解を深めています。乳幼児期の育ち、学びを小学校での学びにつなげ、子供たちが安心して主体的に自己を発揮するための幼保小接続について考えていきたいと思っています。

## 1 1学期の研修内容

### (1) 園内研修

- ・保育補助，園外保育引率補助（主に年長児クラス）
- ・学びの研修（2歳児クラス）参観，カンファレンス ・スキルアップ研修（リズム遊び等）

### (2) 園外研修

- ・幼児教育理解に係る研修会 ・スタートカリキュラム授業参観（神杉小学校）
- ・接続に係る研修会 ・幼児教育長期派遣研修報告会 ・幼保小連絡会，連携推進協議会
- ・学びの研修（神杉保育所5歳児クラス）参観，カンファレンス

## 2 研修を通して

本県では、「乳幼児期から大学・社会人まで」を見据え、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材」の育成に取り組んでいます。乳幼児期に小学校以降の教育の**基礎**が培われるよう、目指す乳幼児期の姿を「遊び 学び 育つひろしまっ子！」とし、乳幼児期に育みたい5つの力を設定しています。

広島県『乳幼児期に育みたい5つの力』 ～遊びを通して総合的に育む～

感じる・気付く

うごく力

考える力

やりぬく力

人とかかわる力

### 『育みたい資質・能力』

- 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「**知識及び技能の基礎**」
- 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「**思考力、判断力、表現力等の基礎**」
- 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「**学びに向かう力、人間性等**」

### 『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』

- 健康な心と体 ○自立心 ○協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり ○思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

教育要領，保育指針（幼稚園，保育所，幼保連携型認定こども園）

育ちの連続性

豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。その際、児童の発達段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

小学校学習指導要領

円滑に・接続

様式 6

幼児期には、5つの力の育ちにつながる経験をたくさんしています。いくつか事例を紹介します。



遊びを通して  
総合的に育む

～できるようになった！を実感しながら～



○縄跳び

「できん」と縄跳びを持って走るだけのことが多かった子が、自由遊びの時にも自主的に練習をする。

「できるようになった。」

「昨日より2周多く走った。」

○リズム遊びやマット等の器械を使った運動遊び

十分に体を動かす気持ちよさを感じながら楽しく取り組む。



うごく力

感じる・気付く力

○山登り

ゆるやかな坂は登ることができるが、急な坂では途中で滑ってしまう。励まし合いながら何度も挑戦する。引っ張り上げようとする友だちの手を断って、登り方を考えたり、手をつけてでも自分でやりきる姿も見られる。

うごく力

考える力

やりぬく力

「もう少し遠くから。」

「ここから登れるよ！」

人とかかわる力

～虫を見つけた！すみかを作ろう～

植物、生き物等に触れたり、季節や天気気付いたりしながら自然に親しむ。

見つけた生き物を友達と見せ合ったり、すみかを作ったりしながら、生き物の観察をする。絵本や図鑑から得た知識を虫探しやすみかづくりに生かす。



感じる・気付く力

考える力

「見つけた！来て！」

「すみかに食べ物を入れておこう。」

人とかかわる力

見つけた虫について気付いたことを友達と伝え合う。

「ホタルがおった！」

人とかかわる力

「光らんじゃん。」

「えっ、これホタルじゃないよ。」

感じる・気付く力

「なんじゃろ。」

特徴を思い出し、図鑑や絵本で調べる。



考える力

「この虫にているね。」「これかね。」

「ちょっとちがうね。」「おしりは黒。」

「もう少し羽が黄色かったよね。」

「何の虫だろうね。」

この遊びの中で学びを支えたもの

【自分の力に合わせて継続的に挑戦できる環境】

自分に合う難易度の課題を選んだり、目標を決めたりして、試行錯誤を繰り返す。自分の成長を感じ、達成感を感じることができる。

【一緒に練習する仲間、ライバルとしての友だち】

声を掛け合ったり、失敗、挑戦を一緒にできたりする仲間が意欲につながる。

【見守り、励まし、共感、承認で支える保育者】

手を貸しすぎず見守り、声掛けや励ましを行い、がんばりや小さな成長を本人と一緒に喜ぶ。

支えられたものの

【自然に触れられる環境】 生き物と触れる経験を重ねることで命を感じ、生命の尊さに気付くことにつながる。

【気の合う友達との関わり】 気付きや考えを伝え合い、協力したり、考えたりしながら楽しむことができる。

【知りたい気持ちを刺激する絵本、図鑑等】 好奇心をくすぐり、興味関心を広げる時期、種類を工夫する。

3 まとめ

幼児は、「遊び」に没頭したり、友だちと一緒に遊びを発展させたりするなど、いろいろな場面で「育みたい5つの力」を育み、発揮していると感じています。幼児が小学校へ入学した際、自分の成長を感じ、身に付けた力が発揮できる、発揮できたと感じられるよう、園・所との連携、学習や生活の在り方について考えていきたいと思っています。

〈乳幼児教育支援センターより〉

幼児期に育みたい資質・能力は、個別に取り出して指導するものではなく、遊びを通じた総合的な指導の中で一体的に育むように努めることが重要です。遊びを展開する過程において、気付いたり、できるようになったりしていくこと、試行錯誤や創意工夫すること、またそうしたことに粘り強く取り組もうとするプロセスを大切にしています。